

小学校第1学年 生活科 学習指導案

期 日 平成 24 年 9 月 27 日 (木) 第 5 校時

場 所 甲佐町立白旗小学校 1 年教室

指導者 教諭 佐方 俊文

1 単元名

「がっこうだいすき パート 2」(学校図書上)

2 単元について

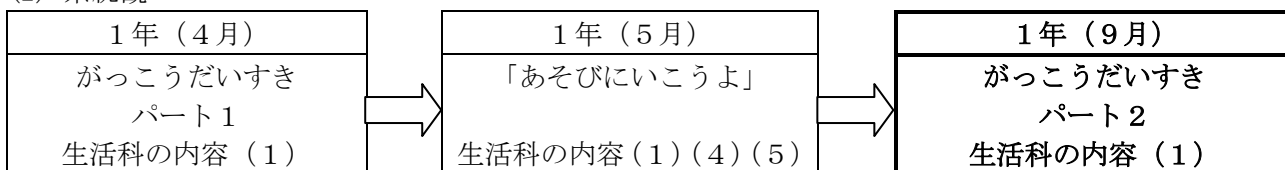
(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の内容(1)「学校と生活」、具体的な視点「ア健康で安全な生活」「イ身近な人々との接し方」「エ公共の意識とマナー」に重点を置き設定した。学校内の施設や学校生活を支えている人とかかわりを通して、学校には様々な施設があり、学校生活を支える人が存在することに気付き、ルールや約束を守り楽しく安全に学校生活を送ることができるようになることをねらっている。

1 学期の学校探検では、校内の各教室や施設等を全員で見て回り、その際校長先生や養護の先生、主事の先生などに施設面での話を聞くという活動を行ったが、気付きの交流を十分に行うことができていない。

そこで本単元では、グループで学校探検をするという具体的な活動や体験を通して、自分との関わりの中で学校生活を支えている人々の存在や自分の居場所となっている施設に目を向けさせ、グループごとに交流の場面を設けることで、学校には支えてくれる人が多くいることへの気付きを深め、学校が好きになり、安心して楽しく学校生活を送ることができるようにしたい。

(2) 系統観



(3) 児童観

○本学級は、男子 11 人、女子 8 人、計 19 人である。1 学期の入学直後に行った学校探検では、初めて見る教室や校内の施設等に興味を持って探検をする姿が見られた。ただ、探検の形が、全員で並んでそれぞれの場所を探検していくという形をとったこともあり、学校の教職員に教室や施設に関することを尋ねる児童は少数に限られていた。また、児童は探検の際に、教職員から主に施設やその教室の利用に関する説明を受けている。

○入学当初は、上級生が 1 年生教室に来て遊ぶことが多く、なかには上級生と一緒に校内を散策する姿も見られたが、1 学期の半ば頃からは、運動場のブランコ、滑り台等の遊具で同じ 1 年生同士で遊んだり、運動場に隣接している白旗山で遊んだりして行動範囲が広がってきている。

○学校生活での児童の様子は、個人差はあるものの、全体的に落ち着いた生活を送ることができている。校内では、1 年生の教室か運動場で過ごすことがほとんどであり、その他の場面としては、病気やケガの際に保健室を、雨の日に図書室を利用している児童の姿が見られる程度であり、限られた空間の中で学校生活を過ごしていることが多い。

○様々な学習場面において、意欲的に学習に取り組むことができる児童が多く、活発な活動を見ることができる。ただ、活動を通して感じた気づきや思いを発表という形で表現する部分を苦手とする児童が多く、グループや学級全体での話し合いでは、限られた児童の意見の出し合いで終わる傾向がある。

○授業前の生活科の学習に関するアンケート結果と考察は以下のとおりである。

関 意 態	○先生や友達とかかわりにおいては、ほとんどの児童があいさつをしたり、一緒に遊んだりすることができるかと答えているが、あまりできない、できないと答えた児童は、その理由を「はづかしい」「けんかをしてしまう」と答えている。学校探検を通して、先生や友達と繰り返しかわる中で会話の楽しさやかかわり方を学ばせていきたい。
-------------	--

思・表	○生活科の勉強は、ほとんどの児童がとても楽しい、楽しいと答えているが、あまり楽しくない、楽しくないと答えた2人の児童はその理由を「うまくできないことがある」「じょうずにできない」と答えている。また、絵や文をかくことがあまり好きではない、好きではないと答えた児童は、表現することが「むずかしい」と答え、苦手意識をもっている。作品の見映えや出来映えではなく、活動を通して得られた気付きを自分なりの表現方法で表し、それをもとに交流することの楽しさを味わわせることで、自信へとつなげていく必要がある。
気付き	○アンケートの聞き取り調査の結果から、以下の自分自身への気付きにつながるような、振り返り表現する場を設けたり、教師の言葉かけの工夫を行ったりする必要がある。 ・先生や友達とうまくかかわることができるようになった自分 ・学校のきまりに気付き、それを守ろうとするようになった自分

(4) 指導観

- 単元の導入で、グループで白旗小マップを作ったり、白旗小クイズをしたりする活動を設定することにより、「学校探検にいつてみたい」という一人一人の思いや願いを育てる。
- 学校探検の一連の活動（計画、探検、振り返り）をグループで行わせることにより、協力して活動することや友達のよさなどに気付かせていきたい。
- 学校探検は1回で終わるのではなく2回繰り返す。1回目の学校探検が終わった後、情報交換をする場を設けることにより、新たな疑問を明確にさせていきたい。
- 学校探検をして気付いたことを表現させるために、絵や文で表せるような振り返りカードを作成し活用する。
- 学校探検をして発見したことや、秘密、楽しかったことなどをもとに「〇〇先生になって」伝え合い交流する場を設定し、児童の気付きを見取るようにする。

Bプロジェクト「知識・技能を活用する学習活動とパフォーマンス評価等を位置付けた授業設計」の視点から	
①知識・技能を活用する学習活動	○「出会い」「イメージ化」「試しの体験」「情報加工（情報収集）」「本格的な体験」「体験や成長の振り返り」「新たな学びへの発展」という探究的な学習過程を設定し、グループで学校探検をするという具体的な活動や体験を通して得られた気付きを次の活動へ生かすことにより、学校の施設や学校を支えている人々そのものに対する気付きから自分自身への気付きへと深まるようにしていく。
②パフォーマンス評価	○情報加工（情報収集）の過程でパフォーマンス課題を提示し「思考・表現」を連続的に見取る。 ○児童の姿を見取る際には、行動観察やカード分析などに、問いかけ、対話分析（能動的な評価）を関連付けて見取っていく。また、問いかけや対話においては、カウンセリングの手法を用いた言葉かけを積極的に活用していく。また教師は、学習活動中の児童のよさを数多く把握し、全体に紹介する時間を設けたり、科学的思考を促す問いかけをしたりして自分自身のよさに気付かせていくようにする。

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	学校の施設の様子及び先生など学校生活を支えている人々のことが分かり、楽しく安心して生活ができるようにする。
生活への 関心・意欲・態度	①学校の施設、先生や友達などに関心をもってかかわろうとしている。
活動や体験について の思考・表現	①学校探検で行ってみたい場所ややってみたいことを選んでいる。 ②学校の施設の利用の仕方や先生や友達とのかかわり方について考えている。 ③学校の施設の利用や先生や友達とのかかわりについて振り返り、自分なりの方法で表わしている。
身近な環境や自分 についての気付き	①学校の施設の特徴、役割、学校を支えている人々の存在や働きなどが分かっている。

4 指導・評価の計画（9時間取扱い 本時9／9）

時	学習活動	指導上の留意点 ※Bプロジェクトの視点	評価基準(B基準) (評価方法)
2	<出会い> ○1学期の学校探検を振り返り、グループで白旗小マップを作る。 <イメージ化、試しの体験> ○白旗小学校クイズをする。	・付箋を使って学校にある部屋や先生を整理し、白旗小マップを作ることにより、児童が日頃かかわっている場所や人を把握し、学校探検の計画につなげていくようにする。 ・施設だけでなく仕事もイメージできるクイズを作り、もっと知りたいという思いを高める。	関心・意欲・態度① (行動観察・発言) ◇1学期の学校探検を振り返り、白旗小マップを作ったり、クイズに答えたりしている。
	<情報加工(情報収集)> ◆パフォーマンス課題の提示◆ グループごとに〇〇先生になって白旗小の秘密を紹介しましょう。 ○マップを見て、探検したい場所や話を聞きたい先生を決め、グループごとに学校探検の計画を立てる。	※パフォーマンス課題を提示し、学習のゴールを明確にすることで、目的意識をもって学校探検ができるようにする。 ・探検の約束、準備、探検するポイントを確認させる。 ・探検する部屋等の秘密をイメージマップで想像させる。	思考・表現① (行動観察・イメージマップ) ◇マップを見て、探検したい場所や話を聞きたい先生を自分で決めている。 ◇グループの友達と探検の約束、準備、探検するポイントを話し合っている。 ◇探検する部屋等のイメージマップを作っている。
	<本格的な体験> ○グループごとに学校探検に行く。 ○グループで秘密の交換会をして、もう一度探検に行く計画を考える。 ○もう一度グループで学校探検に行く。	※「グループごとの学校探検」という本格的な活動を2回繰り返すことにより、思考の高まりや深まりを見取る。 ・1回目の探検が終了後、各自が見つけたことを秘密カードにかき、秘密の交換会をする場を設定することにより、2回目の探検でもっと詳しく調べたいことや聞いてみたいことを決めさせるようにする。	関心・意欲・態度① (行動観察・振り返りカード) ◇グループで仲よく学校探検に行き秘密を見つけている。 思考・表現② (行動観察・発言・振り返りカード) ◇もっと調べたいことや聞いてみたいことをもとにグループで学校探検をし、秘密を見つけている。
2	<体験や成長の振り返り> ○学校探検で見つけた秘密や気付いたことを出し合って自分なりの表現方法で表わす。	※学校探検で見つけた秘密や気付いたことが自分なりの表現方法で表すことができるように問いかけや対話を行う。	思考・表現③ (行動観察・作品・発言) ◇学校探検をして見つけた秘密を、自分なりに絵や文で表したものを使って紹介している。
2 本 時	◆パフォーマンス課題の見取り◆ グループごとに〇〇先生になって白旗小の秘密を紹介しましょう。 ○発見した秘密をグループごとに紹介し合う。 ○ありがとうカードをかく。	・ありがとうカードには、行ってみたくなった場所や、やってみたくなったことを書かせ、新たな学びへの発展につなげる。	気付き① (ありがとうカード・発言) ◇学校探検をして感じたことや気付いたことを、自分の言葉でカードに書いている。
	<新たな学びへの発展> ○自分たちの学校生活を支えてくれている人に感謝の手紙を書く。 ○学校生活における日記を書いていく。		

5 本時の学習

(1) 目標

学校探検をして見つけた秘密や気付いたことを紹介する活動を通して、先生と仲良くなれた自分やもっと学校のことを知りたいという自分に気付き、ありがとうカードを書くことができる。

(2) 展開

過程	学習活動	主な発問・指示	予想される児童の反応	問いかけ・対話	指導上の留意点及び評価	準備物
導入 5分	1 前時までの学習を振り返る。	・この写真は、どこでしょう。 ・この写真は、何でしょう。 ・この前の生活科の時間、お友達は、どんな秘密を紹介しましたか。	・校長室です。 ・トロフィーです。校長室にたくさんかざってあったよ。 ・校長先生のお仕事は・・・	・校長室にはトロフィーがかざってあったね。 ・校長先生のお仕事は、・・・だったんだね。	・これまでの学習活動で提示した写真や、前時に発表した子どもの作品を見せながら、これまでの活動を振り返らせる。	・写真 ・前半の子どもの作品
展開 20分	2 本時のめあてを知る。	〇〇せんせいになって、がっこうのひみつをしょうかいしよう		・昨日、この前、お友達が発表してくれたことも思い出しながら、聞いてみましょう。	・前時に発表した子どもの話し方や聞き方でよかったところを紹介することによって、本時の学習でもみんなにわかるように話したい、しっかり聞いてたくさん質問したいというような子どもの思いや願いを高めていくようにする。	
	3 学校の秘密を自分たちの考えた方法で紹介する。	・今日は、グループの後半の人たちが秘密を紹介しましょう。	・後半のお友達は、どんな秘密を紹介するのかな。楽しみだな。	・お友達は、どんな秘密を見つけたのかな。先生も皆さんの発表がとっても楽しみです。	【思考・表現③】（発表の様子、発言、問いかけ） B基準：学校探検をして見つけた秘密を、自分なりに絵や文で表したものを使って紹介している。 A基準：探検して気付いたことを自分の言葉で言ったり、友達の質問に自分の言葉で返したりしている。	・後半の子どもの作品
	①こうちょうせんせいグループ ②おだわらせんせいグループ ③きょうとうせんせい、なかがわせんせいグループ ④えはらせんせいグループ ⑤かねせせんせいグループ これは、こうちょうしつのソファです。ふわふわしていて、きもちよかったです。 なかがわせんせいのまねをしてインタビューにこたえます。 「どうして、くさとりをしているんですか」 「それはくさにつまづいてケガをするといけないからです。」 わたしも、こうちょうしつのソファにすわってみたいな。 ※机はコの字型にする。 もんだいをだします。 がっこうのけがで、いちばんなにがおおいでしょうか。 ほけんしつには、どんなときに、はいいいのかな？			・グループの他のお友達も、ソファに座ったのかな？どんな気持ちでしたか？ ・草取りやお花を植えたりすると、みんなも中川先生のような気持ちになるのかな？ ・保健室や職員室に一人で入ったことがある人は、どんなふうにして入っているか、みんなに教えてくれるかな？ ・〇〇さんは、〇〇君の話を聞いて、自分もやってみたいなあと思ったんだね。今度、校長先生とお話にいてごらん。		
5分	4 先生たちからのビデオレターを見る。	・みなさんが学校探検に行ってインタビューした先生方からビデオレターが来ていますよ。みんなで見ましょう。	・先生は、どんなことをお話ししてくれるのかな。 ・〇〇先生に、あんなことを言われてうれしいな。	・探検でお世話になった先生方が、とても喜んでくださっていて、先生も嬉しいです。みんなで学校探検をしてよかったね。	※指導に生かす評価 ・声が小さかったり、自分の表現方法で話すことができなかつたりしている子どもには、大きな声が出るように励ましたり、スムーズに話すことができるまで、教師が問いかけながら一緒に話したりする。 ・学校探検での気付きが、絵や文の中に表れていない子どもに対しては、教師がそのことについて質問をし、自分の言葉で表現させるようにする。 ・自分なりの表現方法で表情豊かに発表している子どもや、友達の質問に自分の言葉で返している子どもに対しては、全体の前でほめる。	・ビデオレター
10分	5 教えてくれてありがとうカードを書く。	・ありがとうカードに先生たちへのお礼の言葉や、もっと行ってみたいところややってみたいことを書きましょう。	・探検の時にいろいろ教えてくれたり、インタビューに答えてもらってうれしかったな。 ・お礼にどんなことを書こうかな？	・これからは、いろんなお部屋に行ったり、いろんな先生方とお話したりすると、もっと学校のことを知ることができるかもしれないね。		
5分	6 教師の気付きを聞く。	・最後に先生が気付いたことを話します。先生の顔を見ましょう。	・先生は、どんなことに気付いたのかな。	・お友達の発表を聞いて、感想や質問を出すことができましたね。お友達の話を聞いて、いろんなことに気付くことができましたね。	※授業後に評価 ・学校生活の中で先生や上級生と積極的にかかわろうとする姿が見られていないかを見取っていく。 ・子どもたちの日記や作文で、学校生活における意欲的な取組や積極的な活動が書かれていたら、問いかけを通して自覚させていく。	・ありがとうカード